



● 望月通陽の世界

2017年4月22日／土—4月30日／日

OPEN 11:00 — 18:00 定休日 26日(水)

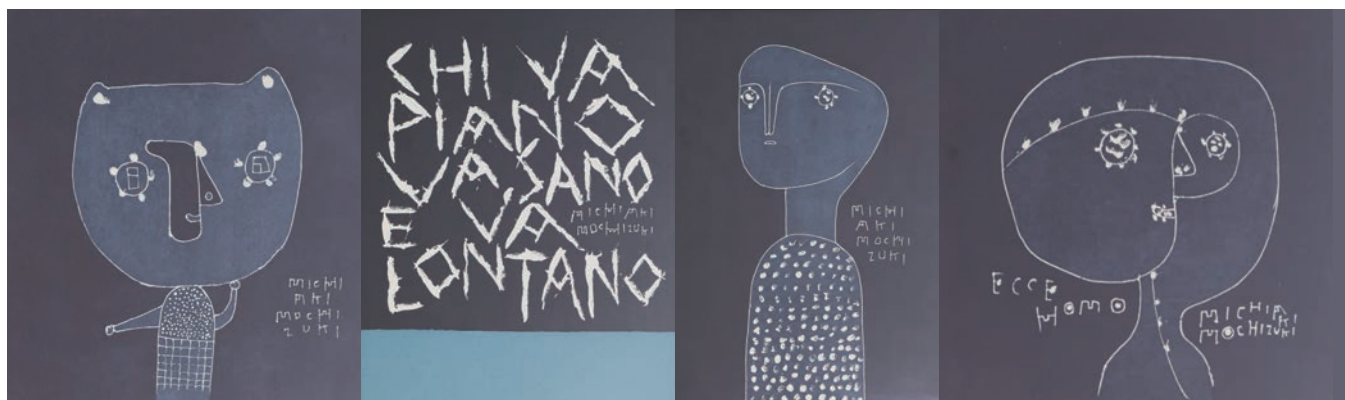
作家在廊日 22日 11:00~16:00在廊
(出かけていれば会えませんが、気まぐれで)

久々に望月通陽さんの静岡のアトリエまで行って来た。
杉本光俊さんがカメラを構えて、何ともいえない形を撮っていた。
ブロンズのその詩神は、ちょっと横わきに人を抱えていた。
綺麗であった。
その人の内側から抱え持つ後ろ姿が、前から見た姿よりなお良かったのである。
また、小さな塊のような像が何体かあって、その一つ一つが何かを祈っている。
そんな思いを持つ自分が、今いるのだと、はたと感じた。

菜の花店主・たかはしいち

望月通陽(もちづき みちあき) プロフィール

1953年静岡市生まれ。染色、ガラス絵、ペン画、ブロンズ、铸造ガラス、木彫、陶など多様な技法を用い、型染めにより培われた形と線でユーモアに満ちた独自の作品世界を築いている。2016年には長野県東御市の梅野記念絵画館にて個展「やがて行く庭」開催。
装幀、装画も多数。光文社・古典新訳文庫カバー画など手掛ける。
1995年 講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。
2001年 ボローニャ国際児童図書展賞受賞。
著作に画文集「道に降りた散歩家」「方舟に積むものは」作品集に「円周の羊」などがある。



うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020
<http://utsuwa-nanohana.com>

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用【箱根口】バス停下車徒歩3分

● 次回予告 張忠儀 魂魄の絵／2017年5月13日・土—5月21日・日 (ゲスト 神林學・安土忠久・森岡成好・内田鋼一)

● 表面の作品 一風のピエタ h.342mm w.250mm d.100mm (ブロンズ)

mochizuki michiaki

